

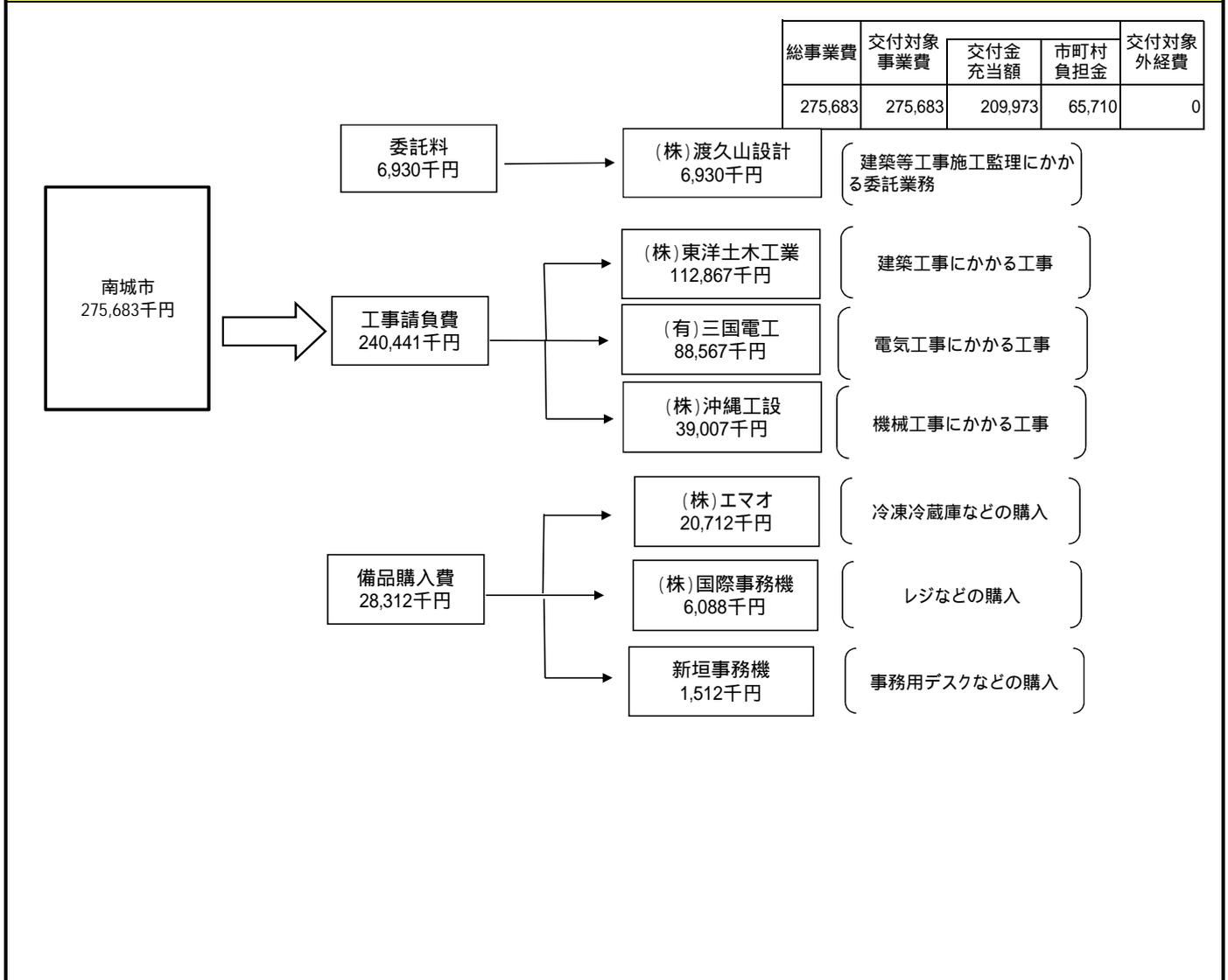
市町村名		南城市					
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1 - 観光物産拠点整備強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部課名	企画部 観光商工課		事業実施(予定)年度	平成24・25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備 -1-(1)
事業内容	魅力的な観光地づくりを図るため、WEBサイトや各種広報媒体等を活用した観光客への情報発信拠点及び観光案内所を含めた、地域観光物産館を整備する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	294,201	-			
		(b)予算現額	294,201	-			
		(c)増減額(b-a)	0	-			
		(d)繰越額	-	198,324			
	A.計(b+d)		294,201	198,324			
	B.執行済額		95,877	179,806			
	うち交付金充当額		76,701	133,272			
	次年度繰越額		198,324	0			
	執行率(%) (B/A)		32.6%	90.7%			
予算の状況の説明		・当初予定していなかった太陽光発電システムの導入など設計の見直しがあり不測の日数を要した為、繰越事業となった。 ・不用額が18,518千円発生しているが、工事費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	地域物産館の実施設設計及び整備工事	目標	(地域物産館の建設着手)	()	()	()	
		実績	地域物産館の建設完了				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	平成24年度(H25.1月)に地域物産拠点施設建築等工事を発注し、平成25年9月に完了、平成25年11月6日に開館することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	地域物産館の建設着手	目標	()	地域物産館の建設着手	()	()	()
		実績		地域物産館の建設完了			
	[参考指標]		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	観光物産拠点施設が、平成25年11月6日より開館し南城市の観光誘客拠点施設として、観光客受入体制の充実強化及び雇用、誘客促進が図られているとともに、物産販売等による消費拡大が図られている。					

	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	事業を推進するうえで、館内の特産品等の充実を図る必要がある。既存の駐車場では、多くの来訪者を受け入れるには不十分である。	指定管理者である観光協会のほか市商工会、民間事業者などと連携を図り、魅力ある施設づくりに努めていく必要がある。駐車場用地の確保が必要である。

今後の取り組み方針

- ・誘客促進を図るため、パンフレット、FM放送等各種広報媒体による県内外のPRを行う。
- ・民間業者と連携をとり朝市の開催や商品開発に取り組む
- ・既存の駐車場では容量が不足しているため駐車場の拡張をおこなう。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	・請負事業者及び委託業務業者の選定は指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ・費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	南城市
------	-----

平成24年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1 - 市域景観形成強化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ
担当部課名	産業建設部 都市建設課	事業実施(予定)年度	平成24～26年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備
			- 1 - (1)

事業内容
魅力的な観光地、まちづくりを形成するために、市域内の道路・歩道内のカラー舗装、コンクリート吹付等の工法を用いて、市道の景観を行う。また周辺の空きスペース等には地域住民による色彩豊かな花の植栽等の緑化活動を実施する。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		(a)当初予算額	10,000			
(b)予算現額	10,000					
(c)増減額(b-a)	0		0			
(d)繰越額	-		4,001			
A.計(b+d)	10,000		4,001			
B.執行済額	6,009		3,991			
うち交付金充当額	4,807		3,193			
次年度繰越額	3,991		0			
執行率(%) (B/A)	60.1%		99.8%			
予算の状況の説明	当初予定していた施工箇所以外に追加した箇所を先行して設計施工する計画であったが、当該箇所の植樹樹は市管理であるが自転車道整備で県が設置した植樹樹であるため県との協議が必要となった。県との協議に日数を要するため当初予定していた施工箇所に発注計画を変更し、設計委託の発注が遅れたため繰越となった。					

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況				
		24年度	25年度	26年度	27年度	
	市道植樹帯防草工事 整備路線 1箇所 整備延長L=0.8km	目標	整備路線1箇所 整備延長 L=0.8Km	()	()	()
		実績	整備路線1箇所 整備延長 L=0.8Km			
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	市道の防草整備を行うことによって緑化活動目標(指標)が達成できた。					

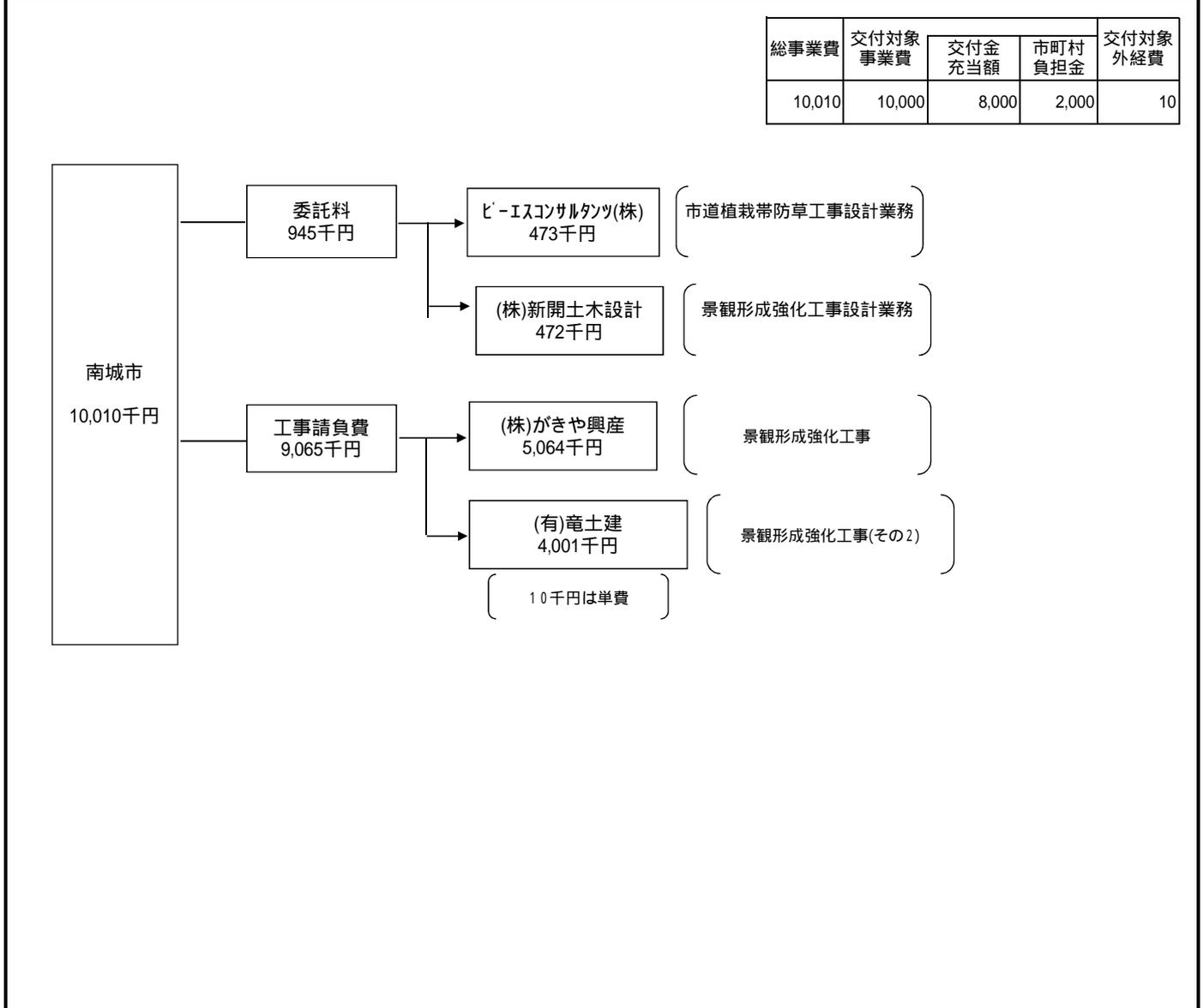
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
			市道植樹帯防草工事 整備路線 1箇所 整備延長L=0.8km	目標	()	整備路線1箇所 整備延長 L=0.8km	()
	実績			整備路線 1箇所 整備延長 L=0.8Km			
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	市道の景観形成を行うことによって成果目標が達成できた。次年度は、地域住民と連携しながら進めたい。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	事業を推進する上で、景観の改善が図られ、沖縄県、当市の観光振興に寄与したものと考え特に問題はなかった。	景観改善を予定している路線が3路線残っており、計画的かつ効果的な執行をしていく必要があり、優先順位などの検討が必要である。

今後の取り組み方針

今後の取り組みについては、市の維持管理で防草除去等を行い地域住民が、花の植栽をすることで観光地形成と歩行者や車道通行の安全を図る。また、平成26年度までに3路線(1.4km)を整備する予定。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



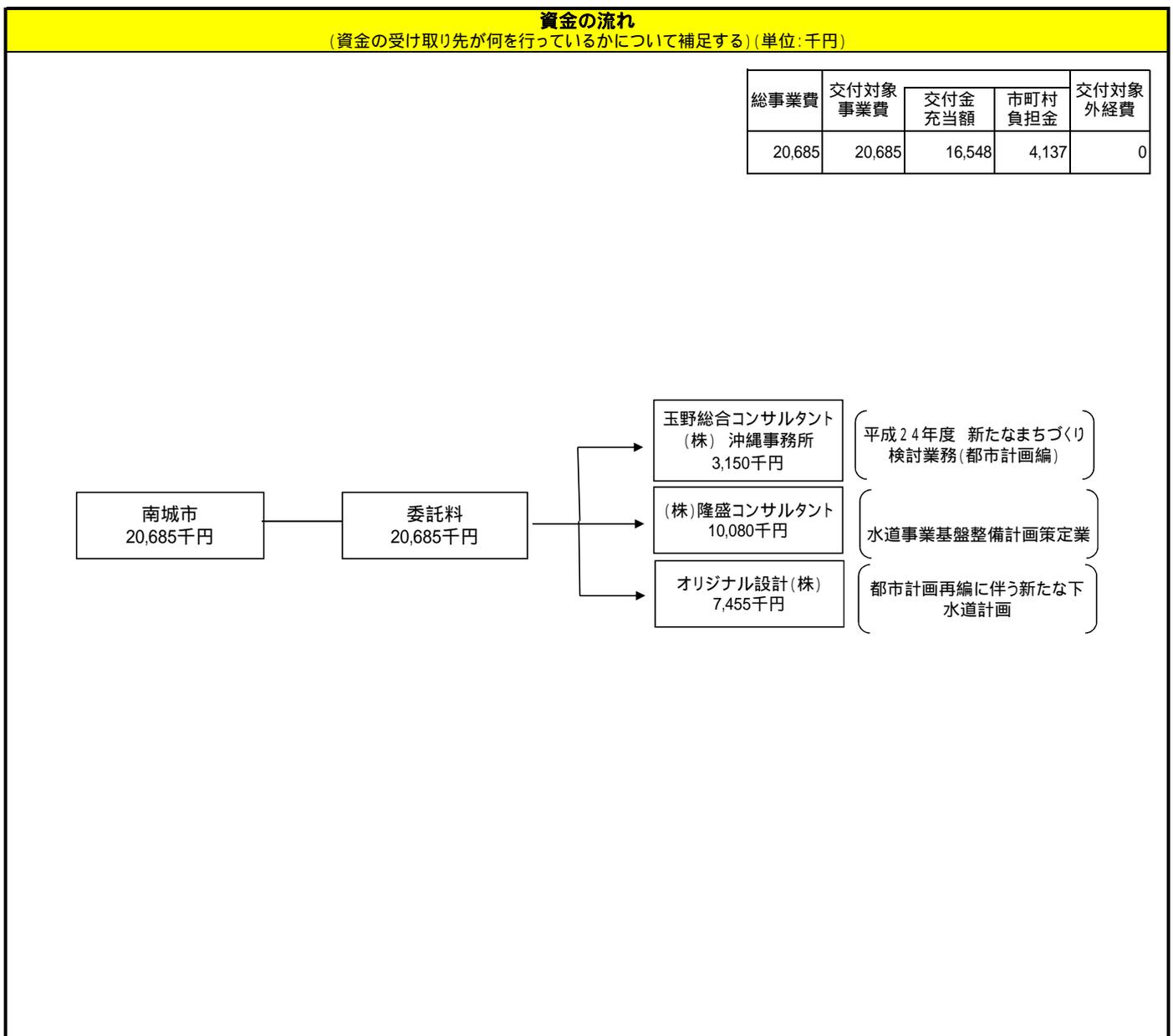
資金の用途の流れ、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	支出先は、指名競争入札により、業者を選定しており妥当と考えている。また、50万円以下の委託業務については、南城市契約規則に基づき随意契約とした。 費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南城市					
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1- 南城市地域特産品開発及び販売促進計画策定事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(9)-イ		
	担当部署名	企画部 観光工商課	事業実施(予定)年度	平成24・25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	県産品の販路拡大と地域ブランドの形成 - 1 - (1)	
事業内容	魅力ある観光特産品を提供するため、農水産品及び工芸品等を活用した魅力ある特産品の研究開発を行い、南城市特産品の需要及び販売ルート等の調査を行う。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	30,000				
		(b)予算現額	30,000				
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)繰越額	-	29,892			
		A.計(b+d)	30,000	29,892			
	B.執行済額		0	29,892			
	うち交付金充当額			23,912			
	次年度繰越額		29,892	0			
	執行率(%) (B/A)		0.0%	100.0%			
予算の状況の説明		特産品開発に係る関係者(生産者・加工業者・販売業者)から、追加の現状調査や意向調査及び検討について、要請が多く寄せられ、その対応・調整に不測の日数を要したため、次年度に繰越を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・特産品ニーズ調査	目標	観光関係機関ヒアリング50箇所 市内観光施設ワークショップ 20人×4箇所	()	()	()	
		実績	観光関係機関ヒアリング95箇所 市内観光施設ワークショップ 総数96人 9回開催				
	・販売ルート指針作り	目標	販路開拓指針の検討	()	()	()	
		実績	南城セレクションプロモーションとして作業終了				
	・地域特産品開発	目標	6品目程度	()	()	()	
		実績	6品目開発完了				
	・特産品認定制度の構築	目標	認定制度案の策定	()	()	()	
		実績	制度(案)策定完了				
・販売促進計画策定	目標	販促グッズ・HPデータ作成	()	()	()		
	実績	上記販促グッズ作成完了					
達成状況説明	地域特産品を開発するにあたり、ヒアリング調査やワークショップを行うことにより、南城市に対する魅力と問題を分析、特産品の素材に対する認識や南城ブランドのイメージを検討することができた。 HPデータ及びデザイン案は作成済みだが、システムとしては、構築されていない状況である。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	・特産品ニーズ調査、特産品開発、販売ルート指針作り、認定制度の構築、販売促進計画策定の実施	目標	()	(6品)	()	()	()
		実績		6品			
進捗状況説明	特産品開発に向けての方針統一化を図りながら素材の設定を検討し、6品の試作品を完成することができた。 その後の経過は以下のとおり。 ・ウコンカレーとガザミのガーリック風味揚げについては、レストランメニューとして販売を行っている。 ・ブーパッポンカレーについては、ウコンカレーとの競合があるため、現在販促活動は休止している。 ・さし草ブランドマンジェ及びフィナンシェとクレソンティラミスは、市内洋菓子店で小売販売の準備を行っている。 ・もずくゼリーについては、ドラゴンフルーツのジェルと、ヨーグルトの浸透圧による混ざり合いの進行を遅延化させる工夫と、消費期限についての検討を行っている。						

市町村名		南城市					
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1- 南城ツーリズム「元気を取り戻す旅」誘客モニター事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-ア		
	担当部課名	企画部 観光商工課	事業実施(予定)年度	平成24～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 -1-(1)	
事業内容	<p>本市の特徴を活かしたメンタルヘルス対応の社員研修のモニターツアーを行い、体験滞在交流観光を推進し、観光資源を活かした継続可能な付加価値の高い新たな滞在型旅行商品「本市を訪れることで元気を取り戻す旅」を開発するための企画立案から商品化までを実施するにあたり以下の業務を委託する。</p> <p>販売ツアー商品設計 コンテンツ開発 企業を対象とした企画商品のニーズ調査 EAP・福利厚生プログラム販売ルート研究</p>						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度		24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		(a)当初予算額	7,000	0			
	(b)予算現額	7,000	0				
	(c)増減額(b-a)	0	0				
	(d)繰越額	-	2,000				
	A.計(b+d)	7,000	2,000				
	B.執行済額	5,000	2,000				
	うち交付金充当額	4,000	1,600				
	次年度繰越額	2,000	-				
	執行率(%) (B/A)	71.4%	100.0%				
予算の状況の説明	ヒアリング先の人事異動等により、担当者との日程調整などに時を要し、企業ヒアリングとアンケート調査の業務に関する業務がおくれ報告書の作成については次年度に繰り越すことになった。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
	モニターツアーの実施回数1回	目標	(ツアー開催1回)	()	()	()	
		実績	ツアー開催1回				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	モニターツアー開催1回(5日間)南城市の精神文化資源を活用した「メンタルヘルス対応社員研修」を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	モニターツアー実施1回(県外企業社員20名受入)	目標	()	(20名)	()	()	()
		実績		20名			
		目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	モニターツアー開催1回において20名余の参加を得ることができた。参加者からストレスが解消されたとの声があり、元気を取り戻す旅の目的が達成できた。						

市町村名		南城市					
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 - 企業誘致・定住促進環境整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(3)-イ		
担当部課名	産業建設部 都市建設課 上下水道部 水道課 上下水道部 下水道課	事業実施(予定)年度	平成24・25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	南部都市圏の機能高度化 - 2	
事業内容	雇用創出を実現し、定住促進及び地域振興を図るため、企業立地区域の環境整備を実施する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	21,546				
		(b)予算現額	20,685				
		(c)増減額(b-a)	861	0			
		(d)繰越額	-	17,661			
	A.計(b+d)		20,685	17,661			
	B.執行済額		3,024	17,661			
	うち交付金充当額		2,419	14,129			
	次年度繰越額		17,661	0			
	執行率(%) (B/A)		14.6%	100.0%			
予算の状況の説明		計画策定にあたり、委託方針の決定に関係課から本市の施策、構想等の調整が必要と意見があり、その調整に不測の日数を要し業務委託の発注が遅れたため、次年度に繰越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・企業誘致及び企業立地区域の環境整備計画策定 ・南城市水道事業基盤整備計画策定 ・都市計画再編に伴う新たな下水道計画策定業務の実施	目標	環境整備計画策定 基盤整備計画策定 基本計画策定	()	()	()	
		実績	環境整備計画策定 基盤整備計画策定 基本計画策定				
			目標	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 企業誘致・定住促進に係る計画条件において政策的土台(南城型都市計画)の状況及びその施工後の状況を調査し、基本方針として、これからの企業誘致・定住促進の着眼点、開発適地の検討、都市機能配置の検討、企業誘致等重点地区の検討を行い、環境整備計画を立てることが出来た。 都市計画再編に伴う水道基盤整備計画を策定及び下水道計画した。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	・企業誘致及び企業立地区域の環境整備計画策定 ・南城市水道事業基盤整備計画策定 ・都市計画再編に伴う新たな下水道計画策定業務の実施	目標	()	環境整備計画策定 基盤整備計画策定 基本計画策定	()	()	()
		実績		環境整備計画策定 基盤整備計画策定 基本計画策定			
	[参考指標]		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 企業誘致・定住促進に係る計画条件及び基本方針を踏まえた環境整備計画を立てることができた。今後は、企業誘致・定住促進の推進に向けて重要な政策計画の見直し、土地利用規制の見直し、都市基盤施設の充実を図っていく。 都市計画再編に伴う水道基盤整備計画及び下水道計画を策定し、今後、年次的に施設整備を図っていく。 						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 企業誘致・定住促進の推進に向けて重要な政策計画の見直し、土地利用の規制の見直し及び都市基盤施設の充実を図るための上位計画(都市計画マスタープラン)の見直しという課題が生じた。 基幹管路の更新需要や、今後の新設整備計画に係る建設費用が膨大であり、長期に渡る整備期間を要することが判明した。 下水道計画策定により、経営安定を図るには収入、支出の両面において経営基盤強化の取り組みを進めなければならない。 	<ul style="list-style-type: none"> 企業誘致・定住促進のためには、これに係る施策・事業を市の政策計画に位置づけ、強力で推進する必要がある。特に「空間づくり」に関する施策・事業は、都市計画法に基づく都市計画を行って実現の担保性を高めることが望ましいため、その拠り所となる都市計画マスタープランへの位置づけを検討すべきである。 健全な事業経営を行いながら、年次計画の見直し等を行い、水道施設整備における事業費の更なる平準化を図る。 下水道使用料の収入総額を確保するため、整備が完了している地域の継続推進の取り組み強化を更に必要とする。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> 推進上の留意点の課題を踏まえ、南城都市計画マスタープランの追加或いは、改訂の検討を行う。 南城都市計画や他事業との連携を図り、水道事業基盤整備並びに下水道計画の変更等を行う。 		



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は、指名競争入札、プロポーザル方式による専門性、技術力、企画力、創造性等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南城市					
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 - 南城市超高速通信サービス整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(10)-ア		
	担当部課名	企画部 まちづくり推進課	事業実施(予定)年度	平成24・25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	雇用機会の創出・拡大と求職者支援 - 2	
事業内容	南部圏域における情報通信関連産業の振興にあたり、超高速通信サービス整備は必要不可欠である。企業誘致、雇用促進を図るため、市内全域(久高島を除く)に超高速通信サービスを整備する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度		24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		(a)当初予算額	204,750	-			
	(b)予算現額	196,350	-				
	(c)増減額(b-a)	8,400					
	(d)繰越額	-	196,350				
	A.計(b+d)	196,350	196,350				
	B.執行済額	0	187,000				
	うち交付金充当額	0	149,600				
	次年度繰越額	196,350	0				
	執行率(%) (B/A)	0.0%	95.2%				
予算の状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・公募をかけた結果、当初予算を下回ったため8,400千円の減額を行った。 ・本事業の対象エリアは地形の起伏が激しく、また施工箇所が広範囲に渡る為、工事期間に不測の日数を要することから繰越しとなった。 ・負担金(特定の政策目的の実現を図るための給付金)は消費税の課税対象外となるため、その分が不用となった(9,350千円)。 						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
	超高速通信サービス環境の整備 市内総面積48.39㎡(久高島除く)	目標	()	()	()	()	
		実績	サービス環境整備完了				
	達成状況説明	目標	()	()	()	()	
		実績					
久高島を除く南城市全域が光インターネットサービスを利用できる環境が整った。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	超高速通信サービス環境の整備 市内総面積48.39㎡(久高島除く)	目標	()	(サービス環境整備)	()	()	()
		実績		サービス環境整備完了			
	進捗状況説明	目標	()	()	()	()	()
		実績					
H25年12月に久高島を除く南城市全域が光インターネットサービスを利用できる環境が整ったことにより、市民や市内の民間業者が光インターネットサービスを利用できるようになった。 このことにより、若年層世帯の転入意欲促進や市外への転出の抑制、企業誘致政策の推進が期待できる。 2014年2月時点の加入実績(市民、企業含む) 申込受付済み(約1,420件) サービス開始済み(約1,130件) 未開通(約290)現在工事調整中(2月末までに約200件)							

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・南城市は地形の起伏が激しく、また施工箇所が広範囲にわたるため、整備に不測の日数を要した。 ・今後、光ブロードバンドを活用したサービスを市民向けに提供していくには、市民の加入促進が課題となる。 	<p>地理的条件を計画スケジュールに考慮することで、より正確な日数の見積を行えるようにする。</p>
今後の取り組み方針		
<p>今後は当事業にて構築された情報インフラをまちづくりの発展のために活用していく予定である。 詳細な活用法は平成26年度策定される「第3次南城市基本情報計画」にて協議等を行い、決定していく予定である。</p>		

資金の流れ					
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
	187,000	187,000	149,600	37,400	0
<pre> graph LR A[南城市 187,000千円] --> B[負担金 187,000千円] B --> C[西日本電信電話 株式会社沖縄支店 187,000千円] subgraph Note D[超高速通信ネットワーク整備 にかかる経費の負担] end </pre>					

資金の 使途の 流れ、 費目、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者はプロポーザル方式による会社概要、サービス要件、保守体制等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	予算規模・費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのかについて支出関連書類により確認した結果、適正であった。
		受益者との負担関係は妥当であるか。	敷設費用等の経費と、利用者の収益を計算し、その赤字分を負担金という形で補填しており、妥当だと考えている。
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南城市						
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-	蔬菜花卉園芸施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 3(7)カ	
担当部課名	産業建設部 産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24~28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備 1(6)	
事業内容	農産物の安定生産、農家所得の向上を推進し施設栽培を奨励するため、施設(ビニールハウス)強化及び施設の防風ネット導入経費を助成する。						
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他()		
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	8,359				
		(b)予算現額	8,359				
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)繰越額	-	8,359			
		A.計(b+d)	8,359	8,359			
	B.執行済額		0	8,359			
	うち交付金充当額		0	6,687			
	次年度繰越額		8,359	0			
	執行率(%) (B/A)		0.0%	100.0%			
予算の状況の説明		補助対象農家の施設内に収穫を控えた農作物があり施工に取り掛かることが出来ず、次年度に繰り越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	既存ハウス等施設の整備	目標	(24カ所)	()	()	()	
		実績	6カ所				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	当初は農家へ必要な資材を補助し自身で施設補強を行ってもらうことを想定していたが、農家によって施工法や完成度が異なり、台風等の自然災害から施設を守り、施設栽培を奨励するという当初の目的を達成できなくなることも考えられたため、施工法を指定し、業者の施工費も併せて補助対象とした。そのため、当初の目標より実績が少なくなりましたが、より強固な施設強化や防風対策を行う事が出来、施設栽培を推進することが出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	既存ハウス等施設の整備	目標	()	(24カ所)	()	()	()
		実績		6カ所			
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	施設強化を3カ所、防風壁の設置を3カ所行った。他の農家からの評判も良く、次年度は多くの申請者があるものと思われる。当初は農家へ必要な資材を補助し自身で施設補強を行ってもらうことを想定していたが、農家によって施工法や完成度が異なり、台風等の自然災害から施設を守り、施設栽培を奨励するという当初の目的を達成できなくなることも考えられたため、施工法を指定し、業者の施工費も併せて補助対象とした。そのため、当初の目標より実績が少なくなりましたが、より強固な施設強化や防風対策を行う事が出来た。					

市町村名		南城市						
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-		沖縄型野菜工場実証試験事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 3(7)キ		
	担当部課名	産業建設部 産業振興課		事業実施(予定)年度	平成24～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	フロンティア型農林水産業の振興 1(6)	
事業内容	低コスト化、低炭素社会実現を推進し、農業振興を図るため空き施設(公共施設)を利用して野菜工場を整備し、生産性、継続性等の実証試験を行う。							
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	40,000					
		(b)予算現額	31,500					
		(c)増減額(b-a)	8,500	0				
		(d)繰越額	-	31,500				
		A.計(b+d)	31,500	31,500				
	B.執行済額		0	31,500				
	うち交付金充当額			25,200				
	次年度繰越額		31,500					
	執行率(%) (B/A)		0.0%	100.0%				
予算の状況の説明		・プロポーザル方式により選定した2候補者との協議が不調に終わり契約に至らず事業を繰り越すこととなった。 ・当初は、太陽光採光システムを導入予定であったが採算面を考慮し、事業費から除いたため8,500千円を減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況			達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	沖縄型野菜工場実証試験の実施	目標	(1回)	()	()	()		
		実績	1回					
		目標	()	()	()	()		
実績								
達成状況説明	施設整備し、野菜の栽培を行いランニングコストの実証試験を実施したので目標を達成できた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	・運営維持方法の策定 ・野菜工場整備の着手	目標	()	運営維持方法の策定 野菜工場整備の着手	()	()	()	
		実績		運営維持方法の策定済 野菜工場整備完了				
	【参考指標】		目標	()	()	()	()	
			実績					
進捗状況説明	・野菜の栽培及び市場調査、生菌検査等を実施し、事業報告書により運営維持方法の報告を受けた。 ・放物面反射を利用した新照明方式システムを導入し、低コストの野菜栽培設備の整備を行った。 ・平成26年度は前年度の実証試験結果・報告を踏まえ継続して栽培を実施している。							

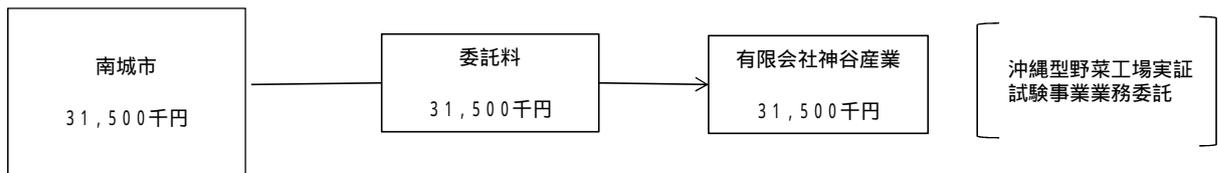
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県は、比較的日照時間が短いため当初導入を予定していた太陽光採光システム(スカイライトチューブ)を設置することで採算性が悪くなることを考慮し採用を見送った。 ・当事業において、施設の整備及び栽培期間、生菌検査、光熱水費の使用料等の実証を行ったが、実際に販路を確立し、販売を行う段階までを実施しなければ採算性を正確に実証するには、厳しい部分があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業を採算ベースに乗せるためには実際に販路を確立し、販売まで行って、採算性を実証することで今後の事業推進につながる。 ・1年間を通して電気料金の推移を測定していないため夏季と冬季の電気料金の数値を測定し、その数値等に違いがないかを検証し、その状況に応じた対策を講じ、採算性を実証することで今後の事業推進につながる。

今後の取り組み方針

事業終了後は、当該事業の委託事業者と施設の使用貸借契約を行い、栽培マニュアル及び採算面の数値等のデータ採り等、1年間実証試験を継続し、野菜の栽培から販路の確立、販売までの一連のビジネスシステムを実現する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
31,500	31,500	25,200	6,300	0



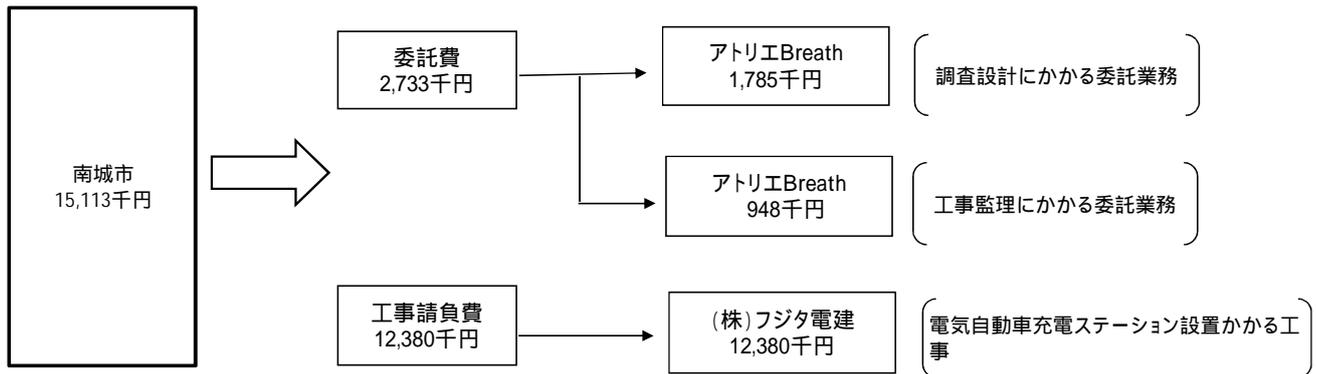
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は公募型プロポーザル方式により選定した企業との協議が不調に終わり、契約ができなかったため、県内2事業者の見積額及び採算性を比較し、随意契約を行ったが、当事業の効果的遂行のためには、妥当であったと考えている。 事業目的達成の観点から必要最小限のものを支出しており適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		南城市					
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6 - 電気自動車充電ステーション設置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(3)-イ		
	担当部課名	企画部 観光商工課		事業実施(予定)年度	平成24・25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	クリーンエネルギーの推進 -10-(1)
事業内容		環境にやさしい南城市のまちづくりを推進するため、多くの市民や観光客などが利用する公共施設へ電気自動車充電ステーションを設置する。					
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	23,200				
		(b)予算現額	23,200				
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)繰越額	-	21,415			
		A.計(b+d)	23,200	21,415			
	B.執行済額		1,785	15,113			
	うち交付金充当額		1,428	10,604			
	次年度繰越額		21,415				
	執行率(%) (B/A)		7.7%	70.6%			
予算の状況の説明		不用額が6,302千円発生しているが、工事費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
	調査設計の実施、設置工事	目標	電気自動車充電ステーションの調査設計及び設置工事の着手	()	()	()	()
		実績	電気自動車充電ステーションの調査設計及び設置工事完了				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
	達成状況説明	市内の観光施設や商業施設に4器設置した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	電気自動車充電ステーションの設置工事の着手	目標	()	設置工事完了4箇所設置	()	()	()
		実績		設置工事完了4箇所設置			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	市内の観光施設や商業施設に4器設置した。低炭素社会の実現に向けたインフラ整備のため、市内観光施設や商業施設に充電施設を設置することにより、電気自動車の普及促進が加速され、電気自動車による観光客が来訪し、環境保全対策としても市内の貴重な観光資源の保護に繋がるとともにCO2の削減効果が期待されている。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>動力電源(単相200Vで且つ受電施設を有していること)が利用可能な状況でなければならない。 利用者へのサポートが必要である。 設置個所の検討が必要。</p>	<p>動力電源がない場所は新たに動力電源を導入する。 サポートは充電ステーションを設置した施設側で行う。 近隣市町村の設置状況及び市内における配置のバランスを図る。</p>
今後の取り組み方針		
<p>今回は観光客を優先に設置を行ったが、今後は住民の電気自動車の普及も考慮し設置個所を検討すると共にさらなる普及促進を図る。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
15,113	15,113	10,604	4,509	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>・請負事業者の選定は指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。(工事監理委託業務は地方自治法施行令第167条の2第1項第6号により随意契約) ・費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものか等について支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
		予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		南城市					
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6- 太陽光採光システム普及事業(企業・一般家庭)		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(3)-イ		
	担当部課名	企画部 観光商工課	事業実施(予定)年度	平成24~26年度		沖縄振興基本方針該当箇所	
クリーンエネルギーの推進 -10-(1)							
事業内容	環境にやさしい南城市のまちづくりを推進するため、太陽光照明システムの一般家庭への普及を推進する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	30,000				
		(b)予算現額	30,000				
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)繰越額	-	30,000			
		A.計(b+d)	30,000	30,000			
	B.執行済額		0	30,000			
	うち交付金充当額		0	24,000			
	次年度繰越額		30,000	0			
	執行率(%) (B/A)		0.0%	100.0%			
予算の状況の説明		太陽光証明システムの周知不足等により導入建物の選定及び施工計画において不測の日数を要したため、次年度に繰越を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	太陽光採光システムの設置台数 120台 電気使用量削減量 2,477kw	目標	設置台数 120台 2,477kw(1台当たり)	()	()	()	
		実績	設置台数 25台 616kw(1台当たり)				
			目標	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	市のイベント等における展示ブースの設置や、受託企業のHP及び住宅新聞等への記事掲載、並びに市の広報紙による周知も行っていったが、目標達成には至らなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	太陽光採光システムの設置台数 120台 電気使用量削減量 2,477kw	目標	()	設置台数 120台	()	()	()
		実績		設置台数 25台			
	[参考指標]		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	本システムを設置された企業、一般家庭からは、節電効果や照度について高評価をいただいているが、価格面において不満があり、いかに価格に対する本製品の効果を説明できるかによるとと思われる。この点において目標達成には至っていない。					

市町村名		南城市					
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6- 太陽光採光システム普及事業(公共施設)		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(3)-イ		
	担当部課名	企画部 観光商工課	事業実施(予定)年度	平成24・25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	クリーンエネルギーの推進 -10-(1)	
事業内容	環境にやさしい南城市のまちづくりを推進するため、自然エネルギー・再生可能エネルギーの普及拡大、おきなわの豊かな太陽光を利用した照明システムを公共施設へ導入する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度		24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		(a)当初予算額	25,000				
	(b)予算現額	25,000					
	(c)増減額(b-a)	0	0				
	(d)繰越額	-	25,000				
	A.計(b+d)	25,000	25,000				
	B.執行済額	0	25,000				
	うち交付金充当額	0	20,000				
	次年度繰越額	25,000	0				
	執行率(%) (B/A)	0.0%	100.0%				
予算の状況の説明	事業実施において導入意向調査を行ったところ、当初予定していたよりも多くの対象施設が出たことから、その導入における設置方法の調査及び費用算出において時間を要したため、次年度に繰越を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	太陽光採光システムの設置台数 50台 電気使用量削減量 4,800kw	目標	設置台数 50台 4,800kw(1台当たり)	()	()	()	
		実績	設置台数 55台 4,380kw(1台当たり)				
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	南城市内公共施設へヒアリングを実施し、導入効果箇所を選定し導入した。その結果、目標以上の実績となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	太陽光採光システムの設置台数 50台 電気使用量削減量 4,800kw	目標	()	設置台数 50台	()	()	()
		実績		設置台数 55台			
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	本システム設置後、天候にもよるが昼間の照明を消すことができている施設も多く経年後電気量(CO2)等の削減効果が期待できる。今後他公共施設への展開も見込める。						

市町村名	南城市						
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-	風力・太陽光ハイブリッド発電導入調査事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(3)-イ	
担当部課名	企画部 政策調整課	事業実施(予定)年度	平成24・25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	クリーンエネルギーの推進 -10-(1)	
事業内容	環境にやさしい南城市のまちづくりを推進するため、風力エネルギー及び太陽光エネルギーを組み合わせたシステムを普及させるための実証実験を実施する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	10,000				
		(b)予算現額	13,000				
		(c)増減額(b-a)	3,000	0			
		(d)繰越額	-	7,837			
		A.計(b+d)	13,000	7,837			
	B.執行済額		5,163	7,837			
	うち交付金充当額		4,130	6,270			
	次年度繰越額		7,837	0			
	執行率(%) (B/A)		39.7%	100.0%			
予算の状況の説明		風力発電システムの一部機器の製造において、海外生産工場で台風災害による部品調達の遅れがあり、機器の製造に不測の日数を要したため次年度への繰越を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	風力・太陽光ハイブリッド発電システムの設置 1台	目標	(1台)	()	()	()	
		実績	1台				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	南城市内の公共施設に風力・太陽光ハイブリッド発電システムを設置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	風力・太陽光ハイブリッド発電システムの構築	目標	()	システム構築	()	()	()
		実績		システム構築完了			
	[参考指標]		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	風力・太陽光ハイブリッド発電システムを構築したことにより、発電量やCO2削減効果を分析するためのデータ取得が可能となった。						

